

平成 29 年 11 月 28 日

報 告 書

島田市議会議長 様

島田市議会議員 大石 節雄

島田市議会議員 村田 千鶴子

島田市議会議員 佐野 義晴

島田市議会議員 森 伸一

議会報告会に出席しましたので、次のとおり報告します。

- 1 日時 平成 29 年 11 月 18 日 (土)
午前 7 時 00 分から 午前 8 時 40 分まで
午後 午後
- 2 会場 島田市役所会議棟
- 3 参加者数 31 人 (男性 29 人、女性 2 人)
- 4 役割
 - (1) 受付 全員
 - (2) 司会 大石
 - (3) 挨拶 (概要) 大石
 - (4) 記録 大石

5 報告事項

(1) 意見及び情報の交換について

「中心市街の地活性化」をテーマとし意見交換を始めたが、さまざまな角度からの意見が出されたため市政全般的な意見交換とした。

- ① 会場の設営について、参加者、議員が議論しやすい口の字型がいいのではないか。(参加者の同意を得た後、会場を口の字型として再開した。)
- ② 河川や土手、道路脇等の除草後の片付けが徹底されていないのではないか。
- ③ 大津谷川等河川内に雑草がある。以前のような小魚が取れるような環境に戻していくべきではないか。
- ④ 蓬莱橋の橋桁のペイント等擬木化がリピーターを増やす意味でも必要。
- ⑤ 蓬莱橋の周辺の整備を活用することによって中心市街地の活性化につなげるようにしていくべき。
- ⑥ 東海パルプ横井工場跡地利用について当局の考えが見えてこない。市民にアンケートなどで意見を聞くべきではないか。
・夢のあるような大きな取り組みが必要。
- ⑦ 土地利用のあり方について、ハード面の整備と併せて人材育成（仕掛けをする人）が必要。
- ⑧ 市民病院の医師の遍在について、眼科・呼吸器科・産婦人科等の診療科がなくなると聞いている。医師確保は大きな課題である。特に、少子化等子育てがしやすい環境を目指す上でも、産婦人科の廃止は問題である。
- ⑨ 新島田市民病院には療養ベッドがないと聞く。市内で療養できずによその自治体病院に行かなくてはならないのはいかがなものか。
・有名な名医に金をかけても呼ぶことによって他の若い医師が集まるのではないか。
- ⑩ 財政が厳しい状況の中で、焼却場に13億円もかけ、長寿命化対策としてさらに2億円上乘せすると聞く。ごみの分別や生ごみの「キエール」等をもっと多くの市民に普及し、経費節減を図る取り組みが必要ではないか。
- ⑪ 育児や介護が必要な家庭への対応について、特養の数は足りているのか。また、共働きの若い家庭の保育料が高い。
- ⑫ 市内に若者の遊ぶ場所がない。現状では、市外にその場を求めてしまう。駅前のイルミネーションにしても中途半端な規模である。若い人がここに来て食事をしたり遊んだりしていけるような取り組みが必要。
- ⑬ 拡張型心筋症の患者の方の意見として、現在人工心臓を装着、移植待機中である。仕事はできる状態ではない。24時間家族の誰かがそばに居なくてはならない。市に障がい者手当の申請をしたが、国の条件に合わないとして取り合ってもらえない。

- ⑭ 島田球場の改築について、プロクラス（山岸ロジスターズなど）が使用した場合、ネットをもう5m高くしないと住民が納得しない等の意見がある。パルプ跡地に新築するなど大きな視点で考えてほしい。
- ⑮ 議員の一般質問に関して、もっと勉強をして市民からの情報を基に当局側と議論してほしい。

(2) 市等への要望事項

6 その他

(1) 周知方法について（会場ごとにどのような工夫をしたか）

- ① 各種団体の会合時にチラシ配布当お願いした。
- ② 個人的に後援者等にお願いをした。

7 まとめ（所見）

私たちが考えていたより多くの参加者を得ることができた。「中心市街地の活性化」というテーマを設定したが、さまざまな角度からの意見要望が出された。

参加者から、今回の「議会と語る会」の形式については、おおむね良好であるとの意見が出されていた。さらに以前の報告会形式の反省点として、議会からの報告時間は必要ないのではとの意見もあった。

市民からの意見要望については、今後議会として研究し課題解決に向けた方策をしっかりと探っていかななくてはならない課題もあった。他の会場の意見も集約し議会として課題を共有する会議等も持っていかななくてはならない。